

11月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：薬物依存や他の依存症
- ②宣教の意向：ラテンアメリカ大陸に共通した宣教の使命
- ③日本教会の意向：神のことばの食卓に近づく

よきおとずれ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY
カトリック長崎大司教区報

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
下 窄 英 知
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148

わたしの人生を
わりの日に復活させよう

ヨハネ6章44節

殉教者の愛の証しに倣って

平戸・長崎・島原で記念ミサ

福者カミロ・コンスタンツォ殉教祭



環境の中で、神を信じることの難しさ、神の存在を示すことの難しさを、福者カミロ・コンスタンツォに倣い思い起こそう。忘れかけた神へのかけがえのない思い、イエスさまが示された『愛』をもう一度考え、『愛』のレベルアップを図ってほしい」と求めた。

この日は残暑が厳しかったが、心地よい風に恵まれた。約250人が参加した一方、年々参加者が減少しているようだとの声も聞かれている。

聖トマス西と15殉教者祭

9月26日、中町教会で聖トマス西と15殉教者祭(教区主催)が行われ、参加した信徒約300人と13人の司祭が殉教者の

遺徳をしのんだ。

はじめに西坂公園から中町教会までロザリオ行列が行われ、その後、長崎南地区長で中町教会主



参加できなかった高見三明大司教に代わり野下神父が務めた。マイケル・ヒルデン神父(城山教会)は説教の中で「殉教者の死んだ日、死んだ場所のように殺されたかと思ひ出す。そればかりではなく、どのように生きてたかを学びたい」と、長崎の聖マゲダレナの生き方に触れ、最後に「聖人の生涯を心に入れて家に帰りましょう。聖人の美しい愛の信仰のメロディーがわたしたちの信仰の励みになるのです」と述べた。

「ガラヤヘー」出会いと派遣のためにー島原・天草殉教者祭の集い

10月9日から10日にかけて、島原・崎津・大江教会が主催する、24時間聖体礼拝と殉教記念ミサが原城跡で行われた。

今年も黙想会を兼ねて小神学生とシスター志願者約80人と養成スタッフが参加。横浜、四日市の

24時間聖体礼拝



サレジオ神学院 地元長崎からは聖母の騎士コル

ベ神学院 ルドビコ神学院、長崎カトリック神学院、宮崎からイエスのカリタス修道女会、大分からサレジオシスターズ、長崎からはお告げのマリ



記念ミサ

ア修道会、長崎純心聖母会の中・高生の志願者らが訪れた。

9日午前11時、ミサから始まった聖体礼拝に、多くの信徒や修道女たち、神学生やシスター志願者たちがリレーでつないだ静かな城跡に打ち寄せる波の音が聖体を奉じた幕屋に賛歌・祈りと共に響いた。

10日、殉教記念ミサの前に、神学生や志願者たちは、古巣 聖神父(大司教館)の案内で有馬川殉教地や有馬のセミナリヨ跡などを巡礼し、有馬地方一帯の歴史的意義について学び、先祖の信仰の偉大さに深く感動した。ミサの説教では、聖ザベリオ宣教会のフランコ・ソットコロノ神父が次のように結んだ。

「殉教者はマリヤさまにロザリオの祈りをささげました。わたしたちの先祖が知っていた同じマリヤさま。その信仰をわたしたちは今日持つていきます。その先祖の子孫として同じ信仰を持つていることを誇りとしましよう。喜びとしましよう。感謝しましよう」

人事異動・任命 教区

中島 健二師 病気のため療養
9月24日付
橋本 勲師 平戸地区長臨時代行(上神崎教会兼務)
11月1日付
松田 聡史師 平戸ザベリオン記念教会主任代行(長崎カトリック神学院兼務)

教区シノドス開催に向け、準備委員会発足

2014年に開催される教区代表者会議(教区シノドス)に向けて準備委員会が発足し、9月26日(日)カトリックセンターでその第1回会合が開かれた。

水恵一(修道会司祭団)、下窄優美(お告げのマリア修道会)、鴨川志津子(長崎純心聖母会)、橋口嘉子(教区修道女連盟)、松尾勝(教区評議会議長)、納富美紀(教区連合婦人会会長)、田川雄三(青年会)、松尾豊樹(修道士)、山脇守、紙崎新一、中浜敬司、下窄英知(以上教区本部事務局)。

ワールドユースデー マドリッド大会 日本巡礼団 参加者募集

国連が定めた「世界青年の年」をきつかけに、1985年教皇ヨハネ・パウロ2世の呼び掛けによって始まったワールドユースデー(WYD)。23年に一度世界規模で祝われ、2011年は8月16日〜21日、「キリストに根ざして生きる」(コロサイの信徒への手紙2・7参照)をテーマにスペインのマドリッドで開催される。

日本事務局はこのマドリッド大会日本巡礼団の参加者を8月から募集。参加資格は、大会参加時点で18歳(高校生除く)35歳、国籍不問。現地集合・現地解散のAコース(100人募集)は8月7日〜23日、日本から一緒に出発し帰国するBコース(200人募集)

カトリック映画賞受賞作品 「風のかたち」

第34回カトリック映画賞受賞作品「風のかたち」(監督 伊勢真一)が11月21日(日)13時と15時30分から、カトリックセンターホールで上映される。カトリック映画賞受賞作品が長崎で上映されるのは初めて。

授与作品を選定、授与するのはシグニス・ジャパンというカトリック団体。同団体は、ベルギーに本部を置き、教皇庁広報評議会に承認されたシグニスとは「しるし」という意味で、放送・映画・インターネットなどの視聴覚メディアを使ってキリストの福音を広めることを目的に設立された団体で、世界140カ国に地域シグニスがある。今回の長崎での上映会にはシグニス・ジャパンと伊勢真一監督を招き、お話や授賞式の様子の紹介、さらに18時から交流会を予定している。

ほしめ

敬老の日に考えてみた。75歳になって、「隠居」はいやだなあと強く思っている。たとえ杖をついていても、足元がふらついていても、どこかの小教区で信徒の視線を感じながら生きていたい▼こんな制度はどうだろう。実社会で定年と言われる65歳には若い司祭に主任の立場を任せ、若い主任司祭のもとで助任司祭として共同生活をする。若い主任司祭が「やりにくいなあ」と感じないよう、方針には口を挟まない。困っているときだけ、「こんな経験したことがあるよ」とそっと背中を押す▼司祭も人間である。年齢を重ねれば、若い司祭と同じような要求をされても無理である。小学生中学生と一緒に遊んでほしい、高校生青年と語り合ってほしい、壮年会婦人会とスポーツ交流をしてほしいなど。信心業のお付き合いはいくらでもできるだろうが、若い司祭が好まれるような分野で同じ要求をされても困るのである▼むしろ、徐々に忍び寄ってくる病気を分かち合って病人を訪問するとか、死の危険に差し掛かっている人に「恐れないうで」と呼び掛ける。こうした部分では一日の長があるのだから、若い主任司祭の手助けができるのではないだろうか▼あとは、複数の司祭を小教区が養えるかだが、その気になれば解決できる問題である。主任司祭より高い給与を望まなければ済むことだ。今の中堅世代は同意見ではないだろうか。(K・N)



献堂100年 (青砂ヶ浦) 小教区創立50年 (湯江) 喜びの節目迎える



青砂ヶ浦教会 (主任司祭・大山 繁神父) は長く上五島地区の中心教会として機能してきたが、今年10月17日に献堂100周年を迎えた。それまでも記念コンサートなどが計画され、この日の記念ミサが100周年行事の仕上げとなった。

ミサは、長崎教区長高見三司牧師、上五島地区の司祭たち、招待を受けた司祭・修道者・信徒約300人が集まり、聖堂は祈りに包まれた。現在の教会堂は、信徒

「聖母の騎士園」の子どもたちと同居していた「上院」と呼ばれている所に住んでいた方々が、自然に囲まれた教会で、今年、小教区創立50周年を迎えた。「心はひとつ」をテーマに、教会改築、記念誌発行、記念ミサと祝賀会を計画。ミサは高見三司牧師を迎えて、教会の保護聖人であるアジジの聖フランシスコの記念日に合わせて10月3日 (日) に行われた。

この地にきたのが始まり。その時に聖堂が隣接され、小教区が創立された。そのため湯江教会は、養護

湯江教会 (主任司祭・山内春治神父) は目前に有明海、後ろに多良岳、遠くは雲仙普賢岳が見渡せる高台の自然に囲まれた教会で、今年、小教区創立50周年を迎えた。「心はひとつ」をテーマに、教会改築、記念誌発行、記念ミサと祝賀会を計画。ミサは高見三司牧師を迎えて、教会の保護聖人であるアジジの聖フランシスコの記念日に合わせて10月3日 (日) に行われた。

この地にきたのが始まり。その時に聖堂が隣接され、小教区が創立された。そのため湯江教会は、養護

「聖母の騎士園」の子どもたちと同居していた「上院」と呼ばれている所に住んでいた方々が、自然に囲まれた教会で、今年、小教区創立50周年を迎えた。「心はひとつ」をテーマに、教会改築、記念誌発行、記念ミサと祝賀会を計画。ミサは高見三司牧師を迎えて、教会の保護聖人であるアジジの聖フランシスコの記念日に合わせて10月3日 (日) に行われた。

この地にきたのが始まり。その時に聖堂が隣接され、小教区が創立された。そのため湯江教会は、養護

湯江教会 (主任司祭・山内春治神父) は目前に有明海、後ろに多良岳、遠くは雲仙普賢岳が見渡せる高台の自然に囲まれた教会で、今年、小教区創立50周年を迎えた。「心はひとつ」をテーマに、教会改築、記念誌発行、記念ミサと祝賀会を計画。ミサは高見三司牧師を迎えて、教会の保護聖人であるアジジの聖フランシスコの記念日に合わせて10月3日 (日) に行われた。

この地にきたのが始まり。その時に聖堂が隣接され、小教区が創立された。そのため湯江教会は、養護

「聖母の騎士園」の子どもたちと同居していた「上院」と呼ばれている所に住んでいた方々が、自然に囲まれた教会で、今年、小教区創立50周年を迎えた。「心はひとつ」をテーマに、教会改築、記念誌発行、記念ミサと祝賀会を計画。ミサは高見三司牧師を迎えて、教会の保護聖人であるアジジの聖フランシスコの記念日に合わせて10月3日 (日) に行われた。

この地にきたのが始まり。その時に聖堂が隣接され、小教区が創立された。そのため湯江教会は、養護

湯江教会 (主任司祭・山内春治神父) は目前に有明海、後ろに多良岳、遠くは雲仙普賢岳が見渡せる高台の自然に囲まれた教会で、今年、小教区創立50周年を迎えた。「心はひとつ」をテーマに、教会改築、記念誌発行、記念ミサと祝賀会を計画。ミサは高見三司牧師を迎えて、教会の保護聖人であるアジジの聖フランシスコの記念日に合わせて10月3日 (日) に行われた。

この地にきたのが始まり。その時に聖堂が隣接され、小教区が創立された。そのため湯江教会は、養護

「聖母の騎士園」の子どもたちと同居していた「上院」と呼ばれている所に住んでいた方々が、自然に囲まれた教会で、今年、小教区創立50周年を迎えた。「心はひとつ」をテーマに、教会改築、記念誌発行、記念ミサと祝賀会を計画。ミサは高見三司牧師を迎えて、教会の保護聖人であるアジジの聖フランシスコの記念日に合わせて10月3日 (日) に行われた。

この地にきたのが始まり。その時に聖堂が隣接され、小教区が創立された。そのため湯江教会は、養護

湯江教会 (主任司祭・山内春治神父) は目前に有明海、後ろに多良岳、遠くは雲仙普賢岳が見渡せる高台の自然に囲まれた教会で、今年、小教区創立50周年を迎えた。「心はひとつ」をテーマに、教会改築、記念誌発行、記念ミサと祝賀会を計画。ミサは高見三司牧師を迎えて、教会の保護聖人であるアジジの聖フランシスコの記念日に合わせて10月3日 (日) に行われた。

この地にきたのが始まり。その時に聖堂が隣接され、小教区が創立された。そのため湯江教会は、養護

「聖母の騎士園」の子どもたちと同居していた「上院」と呼ばれている所に住んでいた方々が、自然に囲まれた教会で、今年、小教区創立50周年を迎えた。「心はひとつ」をテーマに、教会改築、記念誌発行、記念ミサと祝賀会を計画。ミサは高見三司牧師を迎えて、教会の保護聖人であるアジジの聖フランシスコの記念日に合わせて10月3日 (日) に行われた。

この地にきたのが始まり。その時に聖堂が隣接され、小教区が創立された。そのため湯江教会は、養護

「宗教者九条の和」は、10月2日カトリックセンターで「輝かせたい憲法第九条」第6回シンポジウムと平和巡礼in長崎を開催した。基調講演をした高見三司牧師は、日本の諸宗教、キリスト教諸派の宗教者およびカトリック司教たちと共に「宗教者九条の和」呼び掛け人の1人。

講演の中で高見三司牧師は、現行憲法発布後に永井隆博士が著した『いとこ子よ』を引用して、憲法改正議論が進む今こそ、戦争放棄をうたった九条の大切さを訴えなければならぬと強調した。

引き続き、楠達也師 (浄土真宗本願寺派光澤寺住職)、土山秀夫氏 (長崎大学元学長)、小林信治師 (金光大教団日市教会長) がパネリストとして加わり、井田洋子氏 (長崎大学准教授・憲法学者) の司会のもと、シンポジウムが行われた。それぞれ立場から平和への思いが語られ、根拠強い平和情報発信、現行憲法と日米安全保障条約、宗教者が九条を語る意味、沖縄の基地問題など、話題は多岐に及んだ。高見三司牧師は「武器を持たない」と身の安全は図れないという考えから解放され、「武器を持たない方が安全」という発想の転換を訴えた。

参加者からは、「九条、宗教、政治、沖縄の問題が一つにつながった」、「自分たちのこれからの平和の訴え方に示唆をいただいた。平和のための教会の働きが重要であると感じた」といった声が聞かれた。

通して現在も続く差別・人権問題について考えた。18日は日本聖公会の札幌キリスト教会で開会式。「アイヌ民族抵抗運動の歴史」と題し、アイヌの祖母をもつ阿部ユボ氏 (北海道アイヌ協会副理事長) が基調講演を行った (写真)。日本政府は1991年に初めてアイヌを先住民族と認めたが、過去にはアイヌのすべての土地を取り上げたり、アイヌ文化を抹消したりなどの歴史もあり、差別は今も続いている。ワークショップでは、民族衣装の説明やアイヌ神謡集から「カムイユカラ」を全員で朗読、民族楽器トンコリとムツクリの演奏もあった。19日はカトリック北11条教会で主日のミサ後、「ピースゾーン」を世界に「無防備平和のまちづくり」アイヌ民族の歴史と文化」など10分科会に分かれて討論。最終日は人権シンポジウムで、聖書に基づく人間観から議論が行われた。

長崎から正義と平和推進部の3人が参加した今大会。参加者の1人は「差別の問題、九条のこと、特に平和のことについて考える機会となった。正義の名のもとに争いが起こっているが、正義とは何なのか考えさせられた」と感想を話した。

長崎カトリック神学院 樽角秀利様 (旭川市) 右の方からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

長崎カトリック神学院 鶴巻やす子様 (木鉢) 故ヨハネ鶴巻初治様 長崎カトリック神学院 山野初善様 (山野) 故洗礼者ヨハネ 山野貞男様 鍋内清一様 (福江) 故マルタ鍋内敏子様 右の方から神学生養成などのために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。お礼とともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。

長崎カトリック神学院 樽角秀利様 (旭川市) 右の方からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

長崎カトリック神学院 鶴巻やす子様 (木鉢) 故ヨハネ鶴巻初治様 長崎カトリック神学院 山野初善様 (山野) 故洗礼者ヨハネ 山野貞男様 鍋内清一様 (福江) 故マルタ鍋内敏子様 右の方から神学生養成などのために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。お礼とともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。

長崎カトリック神学院 樽角秀利様 (旭川市) 右の方からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

長崎カトリック神学院 鶴巻やす子様 (木鉢) 故ヨハネ鶴巻初治様 長崎カトリック神学院 山野初善様 (山野) 故洗礼者ヨハネ 山野貞男様 鍋内清一様 (福江) 故マルタ鍋内敏子様 右の方から神学生養成などのために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。お礼とともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。

長崎カトリック神学院 樽角秀利様 (旭川市) 右の方からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

長崎カトリック神学院 鶴巻やす子様 (木鉢) 故ヨハネ鶴巻初治様 長崎カトリック神学院 山野初善様 (山野) 故洗礼者ヨハネ 山野貞男様 鍋内清一様 (福江) 故マルタ鍋内敏子様 右の方から神学生養成などのために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。お礼とともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。

長崎カトリック神学院 樽角秀利様 (旭川市) 右の方からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

～青砂ヶ浦教会 献堂100周年記念～《長崎港発着》
聖地 上五島のカトリック教会 巡礼ツアー特別企画
◆青砂ヶ浦天主堂の大山繁神父のミサ・歓迎講話も拝聴◆

10 教会巡礼・お気楽 2日間 お1人様 28,000 円
青砂ヶ浦教会、頭ヶ島教会、江袋教会等、全 10 教会を巡礼
【出発日】 11月27 (土)、12月11 (土)、1月8 (土) 限定3回
＜集合＞ 長崎港・大波止ターミナル 10時30分
※添乗員同行 ※往復、高速船利用 ※食事 (朝1・昼1・夕1) 付き
※お宿はグループ別に個室提供 ※夕食は旬の海の幸会席料理

20 教会巡礼・充実の 3日間 お1人様 44,000 円
キリシタン洞窟、青砂ヶ浦教会、頭ヶ島教会等、20 教会を巡礼
【出発日】 11月26 (金)、12月10 (金)、1月7 (金) 限定3回
＜集合＞ 長崎港・大波止ターミナル 12時30分
※添乗員同行 ※往復、高速船利用 ※食事 (朝2・昼2・夕2) 付き
※お宿はグループ別に個室提供 ※夕食は旬の海の幸会席料理
◆最少催行人員：両コースとも15名

旅行企画・実施 **株 長崎ツーリスト公社** TEL 095-811-7100
FAX 095-826-2000 〒850-0852 長崎市万屋町1-13 内田屋ビル
全国旅行業協会会員 長崎県知事登録旅行業第2-144号
総合旅行業取扱管理者 吉村 徳明 <営業時間 10:30～19:00>

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網

エテルナ・ワコー(株)

代表取締役 ミカエル 溝口 美義
〒858-0926 佐世保市大湯町586
TEL (0956) 47-4380

(医) 外尾 内科医院

院長 ベトロ 外尾 明利
〒857-1152 佐世保市黒髪町34-4
TEL 0956-33-5557

墓地改修・新設 個人のご相談も承ります
実績 城山教会墓地 飽の浦教会墓地
浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地 他 多数
(有) 長崎大理石 社長 ヨハネ 濱本直行
本社 長崎市つじが丘5-1-15 (TEL) 095-839-0374
加工工場 諫早中核工業団地

主の平安
株式会社 **五島式典社** (斎場) **五島中央会館**
代表取締役 コゼフ 浦 昭
24時間営業
五島市上大津町 1385 番地 1 TEL (0959) 74-5551
FAX (0959) 74-5552
五島市奈留町浦 1899-1 TEL (0959) 64-3101
FAX (0959) 64-3102

永井千本桜

12月に2世の桜植樹

「長崎如己の会」

今、長崎如己の会(朝長万左男理事長)が、永井千本桜の「2世桜」の育苗に挑戦している。永井千本桜は1948年(昭和23)、永井隆博士が死の床に横たわりながら執筆した「長崎の鐘」「この子を残して」などの著書の文化賞、印税などで桜の苗木1200本を購入、廃虚と化した浦上教会、学校周辺、各地に学校の生徒、青年たち、



ではこの事業推進に寄付金(一口千円)を募っている。
振込先 十八銀行浦上支店 普通1009636
口座名(トクヒ) ナガサキニヨコノカイ 問合先 長崎如己の会 Tel.095(844)3496

また、長崎如己の会による2世桜の第1回植樹が12月16日(木)、長崎市文教町の純心学園グラウンドで行われる予定。

2日目の神学生のお話の時間に、ある神学生は「僕も体験入学をきっかけに神学校に入った。皆

さんもこの体験をきっかけに神学校に入学してくれたらうれしい」と参加した子どもたちに呼び掛けていた。

神学院は「すでに神学校への入学を決意している子もおり、彼らの中からたくさんの召命が実るように祈りたい」と願いを込めている。

使節の一員だった。中浦神父は西坂で殉教したが、伊藤マンショは若くして長崎で病死、原マルチノはマカオに追放され客死、千々石ミゲルは棄教したとされている。こ

わっている」と触れ、「聖書は生きた神の言葉。わたしたちが救いに達するために記されたもので、どの福音書も相手に対する呼び掛け、問い掛けとして記されている」「イエスが教える方として共にいてくださるのならば、イエスに学ぶ必要がわたしたちにはある。わたしたちもへりくだって

仕える者となつて、このイエスと共にいるよう招かれている」と結んだ。

聖書講座

10月14日、教区生涯養成委員会が主催する秋の公開聖書講座がカトリックセンターで開かれた。講師は聖パウロ修道会の澤田豊成師。インマヌエ

だ。同資料館地下広場には博士が10代のときに描いたものを含む書画の特展「永井隆 書画の世界」も併せて開催された。

日午後10時54分から3分間放送している。この番組は今年9月に始まり、来年3月まで放送予定。番組を観て、自分が所属する教会や地区以外となると、同じ長崎教区でありながら知らないことがたくさんあることに気が付かされる。確かに長崎の教会は、そこに生きる自然と人々を含めて魅力がいっぱいだ。

これを機会に、実際に自分の足で現地を訪れ、その息づかいにじかに触れてみるのもいいかもしれない。

「天正遣欧少年使節」だ。今回はオーケストラではなくオルガンによる伴奏だが、その分安価でオペラの雰囲気味わうことができる。出演は石多エドワード他。11月28日(日)14時開演、会場カトリックセンター、一般2千円、高校生以下千円、指定3千円。問い合わせはオペラプラザ長崎事務局(Tel.0956-8512027)。

永井隆平和の集い

10月16日、長崎原爆資料館ホールで「永井隆 平和のついで」(長崎如己の会主催、三刀屋如己の会協力)が行われ、参加者は講演と音楽会を通して平和に寄せる思いを新た

にした。会場には、16日朝に博士の墓参りを終えたという「三刀屋如己の会」のメンバー22人も訪れ、横川親雄副会長は「交流を通じて今後の活動をより活発にとの希望を持って来ま

とあいさつ。また、島根県雲南市「永井隆平和賞」(作文コンクール)が今年20回目を迎えたことを記念して市が募った折り鶴のうち1万羽が永井隆三郎長崎如己の会副理事長に手渡された。

同会理事長の朝長万左男氏(長崎原爆病院院長写真)の講演では、博士の主治医だった父に連れ添って往診に訪ねた時のことや博士の生涯について紹介、「来年は亡くなって60年を迎えるが、これまでの歩みをずっと見守ってくださっている気がする。原爆の影響が今も続いていること、現在の核抑止力論をどう考

えておられるか先生に聞きたい。それでも『如己愛人』とおっしゃると思う」と話し、「如己の会」の輪がこれからも広がっていくことを願うと結んだ。

講演後は音楽家らによる演奏会があり、優しい温かな音色が会場を包んだ。

だ。同資料館地下広場には博士が10代のときに描いたものを含む書画の特展「永井隆 書画の世界」も併せて開催された。

日午後10時54分から3分間放送している。この番組は今年9月に始まり、来年3月まで放送予定。番組を観て、自分が所属する教会や地区以外となると、同じ長崎教区でありながら知らないことがたくさんあることに気が付かされる。確かに長崎の教会は、そこに生きる自然と人々を含めて魅力がいっぱいだ。

これを機会に、実際に自分の足で現地を訪れ、その息づかいにじかに触れてみるのもいいかもしれない。

「天正遣欧少年使節」だ。今回はオーケストラではなくオルガンによる伴奏だが、その分安価でオペラの雰囲気味わうことができる。出演は石多エドワード他。11月28日(日)14時開演、会場カトリックセンター、一般2千円、高校生以下千円、指定3千円。問い合わせはオペラプラザ長崎事務局(Tel.0956-8512027)。

戦後65からし種・パン種

身近で小さな平和の実現を目指して

井手義美

わたしは平和について書くほどのものは何も持ち合わせていません。そもそも「平和の実現」を目指して始めたわけではありませんが、わたしは昨年2月ごろから長崎市でのホームレス支援活動に参加しています。



1941年長崎市長令。0106年、教区信徒使徒職評議会会長を務める。現在、「長崎ホームレスを支援する会」事務局長。飽の浦教会所属。

「福音宣教」の最近号にイエズス会の英(はなふさ)神父は次のように書いています。ホームレスの存在は何処でも嫌が

られ、ホームレスの人は来てもらいたくないという意見やホームレス支援のグループそのものを教会から追い出そうとする動きすらある」と。

これは、イエスの教えにほど遠い考え方と思わざるを得ません。一方、鹿児島県のザビエル教会では、ホームレスのためにシャワールームを開設しています。わたしはこれが長崎でも実現できたらと願っています。

路上生活者は、「お金がない」という「経済的な貧困」だけでなく、「助けて」と言える人を持たない「関係の貧困」問題

も同時に抱えています。そこでわたしは、不当や雑貨配りを重ねる中で彼らと少しずつ知り合いになり、彼らのよき相談相手になれたらとの思いでかかわっておりま

す。ギャンブル依存症の人や、家はあっても、自分の居場所(ホーム)がなく路上に出てくる人もいるなどホームレスの問題は簡単には解決できないことでしょう。でも、身近にそのような人たちが居るのにそれに目をつぶって「平和」を標榜(ひょうぼう)しても始まらないと思うのです。

た福者キアラ・バダーノ(写真)に倣ってください。幸せは愛のうちにのみあります」と語られた。

フオコラーレの会員らローマの列福式に参列

9月25日にローマの列福式に参列した日本の若者30余人が10月2日帰国した。列福されたのはキアラ・ルーチエ・バダーノ、18歳で亡くなった(1990年)イタリア人の若者。9歳の時両親とフオコラーレを知り「字を習うように福音を生きたい」と言っ



た。17歳の時骨肉腫と診断され、苦しみを教会と若者のためとされた。

最後の数カ月、痛みを緩和するためモルヒネ投与を提案されたが拒否し「今イエスにささげられるのは苦しみだけだから」と語った。告別式に歌ってほしい歌や花、着

た福者キアラ・バダーノ(写真)に倣ってください。幸せは愛のうちにのみあります」と語られた。



9月15日、奈良尾病院にて帰天。享年85歳。1925年7月31日新上五島町桐に生まれ、15歳で桐修道院入会。当時始められた託児所での子どもたちの保育および教会奉仕に従事。59年初誓願宣立。そのころから視力の不調を感じながらも、桐教会の典礼準備などの奉仕に励み、晩年は目の不自由さをささげながら祈りの奉仕に励んだ。葬儀・告別式は同17日桐教会にて行われた。

アグネス 小浦ヲタマ修道女(お告げのマリア修道会)

「教会建設」に懸けた 鉄川与助の世界―展示

カトリック系の建築に心血を注いだ、「建築家・鉄川与助の世界」が9月22日(10月11日まで)長崎市の長崎市松が枝町のピーアムで開催された(写真)。



会場には鉄川与助が建てた塔の設計・増築、頭ヶ島

平和をテーマに ガーデニングW杯

企画 石原和幸氏

世界を代表するガーデナーが競う「ガーデニングワールドカップ2010ナガサキ」(同実行委員会主催)が10月9日佐世保市のハウス・ステンボスで開催された。

ワールドカップ(W杯)は「緑と花による平和と再生への祈り」をテーマに世界のトップガーデナー18カ国から10組が出場し、開催前日の8日、審査が行われ英国の造園デ



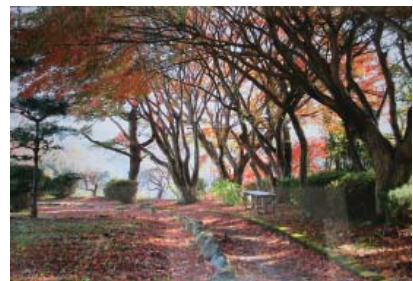
©ハウスステンボス/13324

江上、紐差、青砂ヶ浦、ノ浦、旧野首、大曾、冷水、手取・大江(熊本)今村(福岡)各教会の写真15点(撮影三沢博昭)智書房、今は廃堂となつて久賀島「細石流(さざれ)天主堂」の設計図。1918年(大正7)献堂の田平教会工事算書(1万6755円)など展示し、観覧者の関心を集めた。

鉄川進氏(与助の孫)は「100余の建築物を

鎌倉黙想の家 写真展

9月21日(10月20日)イエズス会日本殉教者修道院鎌倉黙想の家写真展「いのちのり」が、同黙想の家と長崎合同CLC(クリスチャン・ライフ・コミュニティ)の共催により長崎大司教館で開催された。撮影者は、雪ノ下教会(鎌倉市)信徒の



展示作品「もみじ散る」

岸秀雄氏。展示作品は椿やヤマユリ、トラギシやシメ(幼鳥)など、鎌倉黙想の家をとり巻く自然の美しさをとらえた50点余で観覧者の目を惹きつけていた。同修道院黙想の家は、福音史家聖ヨハネ布教修道女会のシスターが高齢化で協力ができなくなったことを受け、一昨年4月から信徒の団体であるCLCが運営を引き受けている。現在、横浜教区、イエズス会、CLCの協働で運営され、今回の写真展は「黙想の家について知っていただければ」との主催者の思いから開催された。

発行 ドン・ボスコ社
定価 1050円
★Guidelines on Inter-religious Dialogue for Catholics in Japan
司教協議会諸宗教部門編
昨年11月発行の「カトリック教会の諸宗教対話の手引き実践Q&A」英訳版。さまざまな宗教の人とかかわる中で、特に日本固有の儀式、習慣などに精通していない外国籍の方にとって難しい判断にぶつかることがあるが、そういった種々の問題に分かりやすく答える。
発行 中央協議会
定価 840円
★カトリック司祭58人に聴く「神父の素顔」
カトリック新聞社編
カトリック新聞で反響を呼んだ司祭年記の連載コラム「神父の素顔」に、近年の司祭紹介記事7本を合わせた1冊。司祭58人が、召命のきっかけや司祭職の喜びと共に、スランプ期をどう乗り越えたかなど、とっておきの話を披露する。
発行 教友社
定価 1260円
★DVD短編アニメーション「こちたまご応答ねがいます」
千葉茂樹企画・脚本・監修
ピクチャーズ
ネットワーク製作
お母さんのお腹に宿った胎児(たまご)が中絶されそうになり、小学校6年生のおにちゃんに救助を求めるストーリー。胎児との対話を通して生命尊重、女性の尊厳、妊娠の仕組みなどが紹介されている。本編28分と特典映像「たまごが赤ちゃんになるまで」14分の計42分。価格4200円、NACK5AMACHISENTボールでも取り扱い。

真)が世界のトップガーデナーたちに呼び掛け実現した。石原氏自身も英国のチェルシーフラワーショーで2006年から3年連続でゴールドメダルを受賞している。

10月9、10日の2日間にあたる「ながさき音楽祭」の初回公演が五島市浦頭教会であった。写真。長崎県県文化団体協議会、NPO法人世界遺産長崎チャーチトラストの主催。

初日は長崎市聖マリア学院音楽クラブSSCORの小学生と五島市緑丘小学校合唱団の初コラ



ボによるコンサート、10日は聖マリア学院のみの出演で福江教会で開催された。

聖マリア学院は2回の公演で持ち歌を替えて清らかな歌声を教会に響かせた。一方、緑丘小学校はNHKの音楽コンクール出場のため猛練習を重ねた曲など、見事なハーモニーを奏でた。聖マリア学院の子どもたちは初の五島訪問で緑丘小学校の子どもたちとの交流、日曜日は福江教会信徒と共にミサに与かるなど貴重な体験となった。

結果は次の通り。「Aブロック」1位 土井ノ浦、2位 浜串、3位 青方「Bブロック」1位 真手ノ浦、2位 青砂ヶ浦、3位 曽根

ルカ10章2節「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださいるように、収穫の主に願いなさい。」



みことばにふれて 68
野濱達也神父
(長崎カトリック神学院)

神学院で生活していると、自分が神学生だつたことを思い起こすことがあります。自分も同じだったなと時を経て変わらなさと感じることもあれば、変わってしまったなと思うこともたくさんあります。中でも何よりも大きく変化したこと、それは人数です。多い時は100人近

た聖堂はガラガラ、2つあった自習室は1つで足り、少しのスペースしか必要でなくなった食堂の後半分には卓球台が



やはり寂しさを感じてしまいます。イエスさまは、福音を宣べ伝えるために12人の弟子に加え72人を選び、ご自分が行くつもり

の町や村に派遣なさいました。しかし、宣教活動のためにはさらに多くの働き手が必要です。そのためイエスさまは「収穫は多いが働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださいように、収穫の主に願いなさい」と語り、72人を送り出します。

さて、わたしたちは一人一人が働き手でなければなりません。イエスさまのために働く働き手です。そしてその働きにさらに多くの人が協力し



てくれるように祈ってください。司祭となる人も、もつとも必要です。教会という共同体が成り立つには司祭は必ずいなければならない存在です。「働き手を送ってください」このみことばを心に留め、司祭召命のために祈ってまいりましょう。司祭への道を歩んでいる神学生たちがその召命の道を全うすることができまうように。そして新しい召命のお恵みがありますように。(カットは松尾英樹神学生)

目録総合体育館で行われ、応援団など300人超の参加者が交流を深めた。この大会は、同地区カトリック婦人会がスポー

平成23年度 園児・児童・生徒募集

Love to learn and Learn to love

第2回 小中オープンスクール

平成22年11月20日(土)

9:00~ 音楽祭

11:30~ 学校説明会

12:30~ 昼食会(無料)

幼稚園 TEL 095-844-2667

小中学校 TEL 095-844-1549

http://www1.cncm.ne.jp/~st-maria/

主の平安

カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎 市 辻町 7-18 TEL(095)844-4011

24時間営業 FAX(095)843-9896

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付

白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 マリア 大島 睦子

(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号

電話 095-822-8436

FAX 095-822-8436

なが さき せき ちょう

長崎石彫

ヨゼフ 岩永 博明

☎(095) 862-2469

長崎市梁川町 6-17 岩永ビル

石 碑

墓地工事

写真彫刻

墓地分譲

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社

西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己

本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地

TEL (0956) 31-8268